

令和 6 年第 4 回定例市議会

行政報告

北海道恵庭市

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

第6期恵庭市総合
計画の策定状況に
ついて

はじめに、第6期恵庭市総合計画の策定状況について申し上げます。

8月から9月まで4回開催した「市民まちづくりワークショップ」で出された意見につきまして、10月18日にワークショップ委員より報告書を提出いただきました。

また、10月21日から29日までに「市民の広場」を4回開催し、私を含め延べ151人の参加をいただきました。「10年後の恵庭」をテーマとして、市民と行政がともに恵庭の未来について考える機会となったところであります。

今後も、様々な市民の意見を将来のまちづくりに反映させながら、計画策定に向けて取り組んで参ります。

多文化共生事業に
ついて

次に、多文化共生事業について申し上げます。

本年10月末現在、恵庭市在住の外国籍住民は1,098人となり、技能実習生や留学生など多くの外国人が居住しております。

本市では、異なる文化や背景を持った方々が、地域の一員として安心して暮らせるよう、多言語通訳システムや市ホームページのやさしい日本語変換ツールの導入、日本語ひろば「えにわ」の開催など、多文化共生のまちづくりを推進すべく、様々な取組を行っているところであります。

9月23日には、花の拠点「はなふる」において「えにわ多文化共生フェスタ2024」を開催し、地域に住む外国人が自国を紹介するブース展示や外国人のスピーチ発表、パネルディスカッションを行う等、約1,200人の方々にご来場いただいたところであります。

今後も、外国籍住民と市民の交流が促進されるよう取り組んで参り

シティセールスの
推進について

ます。

次に、シティセールスの推進について申し上げます。

本市の魅力発信及びふるさと納税や企業版ふるさと納税の寄附促進等を目的として、１１月１５日から、本市ふるさと納税専用サイトやポータルサイトに、有名俳優の写真素材を活用したバナーや画像を制作・掲載するとともに、１２月５日には、電子雑誌「旅色」を活用し、本市の観光名所やグルメ、体験などの見どころを紹介する動画を制作したところであります。

この電子雑誌は、全国に月間６６６万人を超える多くの読者を有しており、本動画を効果的に活用し、本市の魅力を全国に向けて再発信するとともに、道内外のＪＲ駅構内やショッピングモールに直接出向いて、ＰＲ活動などの取組を進めて参ります。

都市計画マスター
プランについて

次に、都市計画マスタープランについて申し上げます。

都市計画マスタープランにつきましては、７月に策定した「新市街地の基本的な考え方」に基づく見直し原案を策定し、１１月の都市計画審議会において予備審議をいただいたところであります。今後は、関係機関との協議や市民説明会、パブリックコメントなどを実施し、本年度末の完成に向けて取り組んで参ります。

えにわ環境・エネ
ルギー展について

次に、えにわ環境・エネルギー展の開催について申し上げます。

９月８日に花の拠点はなふるにおいて「えにわ環境・エネルギー展」を開催いたしました。

当日は、環境への取組を行っている企業等による実験や、体験型のブースの出展のほか様々なイベントを実施し、市内外より約６，０００人の方々にご来場いただいたところであります。

	今後も環境問題や脱炭素社会の実現に向けて積極的に取り組んで参ります。
本市における「ケアラー支援推進月間」について	次に、本市における「ケアラー支援推進月間」について申し上げます。 本年4月から施行いたしました、「恵庭市ケアラー支援条例」及び「恵庭市ケアラー支援推進計画」に基づき、毎年11月を「ケアラー支援推進月間」と位置付け、国や道などと連携し重点的に啓発活動を実施しております。本年度は、「ケアラー」、「若者ケアラー」、「ヤングケアラー」それぞれの啓発動画を作成し、ユーチューブに投稿するなど普及啓発を図ったところであります。 また、「ヤングケアラーカフェ」の開催及び市内小中学校で「ヤングケアラーの啓発講座」を3回、集中的に開催いたしました。 今後におきましても、国や道及び関係機関等と連携しながらケアラー、ヤングケアラーへの理解を深めていただくよう、広報周知啓発活動に取り組んで参ります。
えにわ子育て応援隊の活動について	次に、えにわ子育て応援隊の活動について申し上げます。 恵庭で子どもを生み、育てたいという市民を応援し、次代を担う子どもたちの健やかな成長を見守り、地域全体で子育てを支えあうことを目的として活動しており、本年9月に子育て応援企業表彰として、子育て支援に取り組んでいる1社を表彰いたしました。 また、9月27日には、「えにわ子育て応援フェス2024」を開催し、子ども達を含め、648人と多くの方に参加いただいたところであります。
農業振興について	次に、農業振興について申し上げます。 北海道農政事務所の「令和6年産水稻の作付面積及び9月25日現在

	の予想収穫量」によりますと、作況指数は全道で１０３、本市を含む石狩管内でも１０３となり、作柄については「やや良」と公表されております。 石狩農業改良普及センターによりますと、水稻につきましては、８月の平均気温は高い日が続きましたが、昨年のような猛暑ではなかったことから、収穫まで順調に作業が進み、品質も良い傾向にあると聞いております。 また、他の農作物につきましても、年間を通して干ばつ傾向ではありましたが、多くの品目において順調に収穫期を迎えたと報告を受けております。 次に、市営牧場についてであります。５月２０日、２２日に入牧を行い、市内外の酪農家１２戸より１７６頭の乳用牛を受け入れ、１０月１７日、１８日の退牧日まで約１５０日間の放牧を行い、生産者へ引き渡しを行ったところであります。
えにわん産業祭２０２４ＵＮＩＴＥ（ユナイト）の開催について	次に、えにわん産業祭２０２４ＵＮＩＴＥ（ユナイト）の開催について申し上げます。 ９月７日に花の拠点「はなふる」において、「えにわん産業祭２０２４ＵＮＩＴＥ（ユナイト）」を開催いたしました。 当日は市内外より約１０，０００人の方々にご来場いただき、市内の企業による商品の販売や企業ＰＲのほか、飲食ブースの出店やはたらく車の車両展示などを通じて本市の産業の魅力発信や、友好都市である藤枝市の特産品や連携商品の販売を行い、多くの来場者に楽しんでいただいたところであります。
花の拠点「はなふる」の表彰について	最後に、花の拠点「はなふる」の表彰について申し上げます。 都市公園の設計、施工及び管理運営等の技術水準の向上を目的とした、

第40回都市公園等コンクールにおいて、7つのガーデンや景観、さらには、市民協働の花のまちづくりが評価され、花の拠点「はなふる」が最高賞である「国土交通大臣賞」を受賞いたしました。

また、花のまちづくりを広げ、地域の環境やコミュニティづくりを目的とした、第34回全国花のまちづくりコンクールにおいて、「はなふる」の7つのガーデンが「優秀賞」を受賞いたしました。

この2つの受賞により、本市の花のまちづくりや、花の拠点「はなふる」が全国に発信されたところであります。

以上、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。